

聞こえにくい方への 話しかけ方

- ・ 顔や口元が見える位置で、ゆっくり、はっきり伝えましょう。
- ・ 言葉だけでなく「表情」や「口の形」も見せるように意識しましょう。

話しかけ方のポイント

- ★ 必要以上の大声はいりません。大きすぎる声はかえって、音がひずんで聞こえづらくなります。

- ★ 「低めの声」は、より聞こえやすくなります。

例) 子供の声より大人の声の方が聞き取りやすい
女性より男性の声の方が聞き取りやすい



- ★ 相手が聞き取れないときは、同じ言葉を繰り返すのではなく、別の言い方や説明を添えてみましょう。

例) 「タマゴ」を「タバコ」と聞き間違えた
→ 「鶏のタマゴだよ」など



- ★ 大事な話は重要な言葉を「文字で書いて」伝えましょう。
文で書くのではなく、キーワードを書きながら話をすすめてみましょう。

例) 明日は、長男が朝の9時に迎えに来て、〇〇病院まで薬をもらいに行きます。保険証を用意しておいてね。

→

| |
|----|
| 明日 |
|----|

| |
|------|
| 〇〇病院 |
|------|

| |
|------|
| 9時出発 |
|------|

| |
|-------|
| 保険証用意 |
|-------|

 など、
大事なことのみ、書きながらしゃべる。書く語順も、必要に応じて変えると
分かりやすい。